

# 叙勲

危険業務従事者叙勲の受章者を紹介します(敬称略)。

◆瑞宝双光章(消防功労)



林 秀郎 (飯塚)

昭和49年、八日市場市外三町消防組合消防本部に採用され消防士を拝命以来、41年の長きにわたり職務に精励。警防課長、横芝光消防署長、消防本部長を歴任し、26年に消防長に就任。各部署で先進的に業務の見直しを図り、現場活動においても人命救助優先、消防設備の近代化と職員の教育指導など、消防組合の発展に尽力されました。

## 国民年金 Q&A

- Q 年金の支払日はいつですか?  
 A 年金は年に6回に分けて支払われます。支払月は、2月、4月、6月、8月、10月、12月です。それぞれの支払月の内容は、その前月までの2カ月分の年金です。例えば6月に支払われる年金は、4月・5月の2カ月分です(=下表)。

年金の支払日	支払いの対象月
2月15日	12月・1月の2カ月分
4月15日	2月・3月の2カ月分
6月15日	4月・5月の2カ月分
8月15日	6月・7月の2カ月分
10月15日	8月・9月の2カ月分
12月15日	10月・11月の2カ月分

※15日が土・日曜日、祝日の場合は直前の平日。

問 佐原年金事務所 ☎0478-54-1442

## ふるさと納税

### 令和元年度の寄付金報告

昨年度本市に寄せられたふるさと納税寄付金額を下記の通りお知らせします。寄付金は「匝瑳市ふるさと振興基金」に積み立て、目的に沿って活用します。

寄付目的	金額
産業の振興	956万円
農林水産業・商工業活性化、観光の振興など	
福祉の充実	1064万5000円
子育て支援、高齢者対策、障がい者対策など	
教育の充実	684万5000円
学校教育や生涯学習の充実など	
住環境の整備	521万8500円
都市基盤の整備、防犯防災対策、環境対策など	
まちづくり	724万円
人口減少対策、空き家対策、市のブランド化など	

合計 5777件 3950万8500円

※台風15号災害支援ふるさと納税寄付金は含みません。

### 令和元年台風15号災害支援

### 緊急支援募金 278万円に

ふるさと納税制度を利用した昨年の台風15号の被害に対する緊急支援募金は、3月末時点で、192件・278万3300円に達しました。寄付金は、2月までに頂いた分は幼稚園・小学校・中学校の災害復旧事業などに活用し、3月に頂いた分はふるさと振興基金に積み立てて、今後の防災事業などに活用します。

▷寄付者紹介 川村嘉則、鈴木まどか、馬場昭広、村田明子

※11月1日～3月31日の寄付者で、寄付額2万6000円以上で掲載の承諾があった人(敬称略)

問 企画課企画調整班 ☎73-0081

## 初心者 夏の涼しい 思い出づくりに アイススケート教室を開催します



アイススケート教室の参加者を次の通り募集します。

◆日時

7月19日(日) 8時45分に八日市場ドーム玄関前集合

◆場所

アクアリンクちば(千葉市)

◆定員

50人(申し込み順。小学生以下は保護者同伴)

◆費用

大人1500円、高校生1300円、小・中学生1200円、未就学児900円、65歳以上1300円(入場料、スケート靴レンタル料、旅行保険料など)

◆申し込み

6月4日(木)～28日(日)に左記まで

申問生涯学習課スポーツ振興班

☎73-0097

## 募集

# 赤十字防災ボランティア

— 災害を知ろう、災害に備えよう

県赤十字防災ボランティア連絡協議会匝瑳市地区協議会では、災害発生時に応急救護活動やボランティアセンターの運営などに協力してくれる個人ボランティアを募集しています。

次の通り説明会を開催しますの  
 で、災害時に「自分に何ができるか」を一緒に考えてみませんか。

◆日時

7月11日(土) 10時～16時(受け付け開始は9時30分)

◆場所

市民ふれあいセンター(2階視聴覚室)

◆内容

災害の知識と赤十字が行う災害救護の取り組みなどの説明や、AED(自動体外式除細動器)を使った心肺蘇生法講習など

◆申し込み

7月10日(金)までに左記まで  
 ※当日に会場での直接申し込みも可能です。

申問福祉課社会福祉班

☎73-0096





協定を締結した、「5日で5000枚の約束。」プロジェクト実行委員会の関川・関東地区委員長(左)と太田市長



協定を締結した、八日市場青年会議所の渡辺理事長(左)と太田市長

## 大規模災害時における支援協定 豊業者と青年会議所とそれぞれ締結

市は、全国の豊製造業者でつくる「5日で5000枚の約束。」プロジェクト実行委員会と3月24日に、一般社団法人八日市場青年会議所と3月26日に、それぞれ大規模災害時における支援協定を結びました。

「5日で5000枚の約束。」プロジェクト実行委員会と結んだ協定は、大規模災害などが発生した場合に、避難所などに新品の豊を無償で届けるという内容。市から要請を受けて、現在加盟する約530(県内は19)の豊業者が協力し、5日以内に必要に応じて最大約6800枚の豊を提供します。協定の調印式では、同プロジェクトの関川恵一・関東地区委員長が、「豊特有の温かさや柔らかさ、匂いで被災者を癒して、復興・復興の原動力になりたいです」と話しました。

また、八日市場青年会議所と結んだ協定では、大規模災害などが発生した場合に、同会議所の持つ組織力と機動力、会員ネットワークなどを生かして総合的な救援活動を行うという内容です。市から要請を受けて、災害時に救援物資などの調達や輸送、専門的な知識や技能を活用した活動などの協力を行うというもので、同会議所の渡辺信義理事長は調印式の中で、「昨年の台風災害の教訓と、私たちの持つネットワークを生かし力になりたいです」と話しました。

## 投稿写真館 No.50

### 「猫パンチの応酬」

志賀正義さん(生尾)



撮影場所 市内・生尾

「兄弟猫の戯れ合いが始まった。繰り返される動きがやけに面白い場面だった」

### 投稿をお待ちしています!

作品に住所、氏名、電話、題名、50字程度のコメント、撮影場所を添えて、ご応募ください。

《応募できる人》市内在住者で、一度に一人1点。

《サイズ》プリント判は自由、データは1MB以上。

《応募方法》郵送、持参、メール(QRコード読み込み)のいずれか。



コカ・コーラボトラーズジャパン(株)・市川統括部長(左)と太田市長(5月12日撮影)

市とコカ・コーラボトラーズジャパン株式会社は3月19日、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の機運醸成や地域活性化などの幅広い分野で協力して取り組むことを目的に、包括連携協定を結びました。

今後、協定に基づいて同社との協働によるイベント開催などさまざまな事業に取り組みます。

また、5月12日にはコカ・コーラなどの飲料計100箱の寄贈が同社からあり、市役所を訪れた同社の市川朋弘統括部長は「来年の開催に向け、新型コロナウイルスの影響を吹き飛ばす勢いで盛り上げていきたいです」と話しました。なお、寄贈された飲料の一部は、市介護保険事業者連絡会を通じて同会の加盟事業所に配布しました。

東京2020大会成功と地域活性化にタッグ  
コカ・コーラ社と包括連携協定を締結